

鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略 概要

～人口減少の流れを転換し、地域を再興するための指針

基本的な考え方

- ・【位置付け】
- ・総合計画との一体性、整合性を確保しつつ、人口減少の克服及び国の地方創生政策に対応する施策分野に特化した総合的政策パッケージとする。
- ・【計画期間】
- ・平成27年度から平成31年度までの5年間
- ・【計画人口】
- ・人口ビジョンにおける将来展望を踏まえ、計画期間内での施策効果を見込み、12万3千人とする。

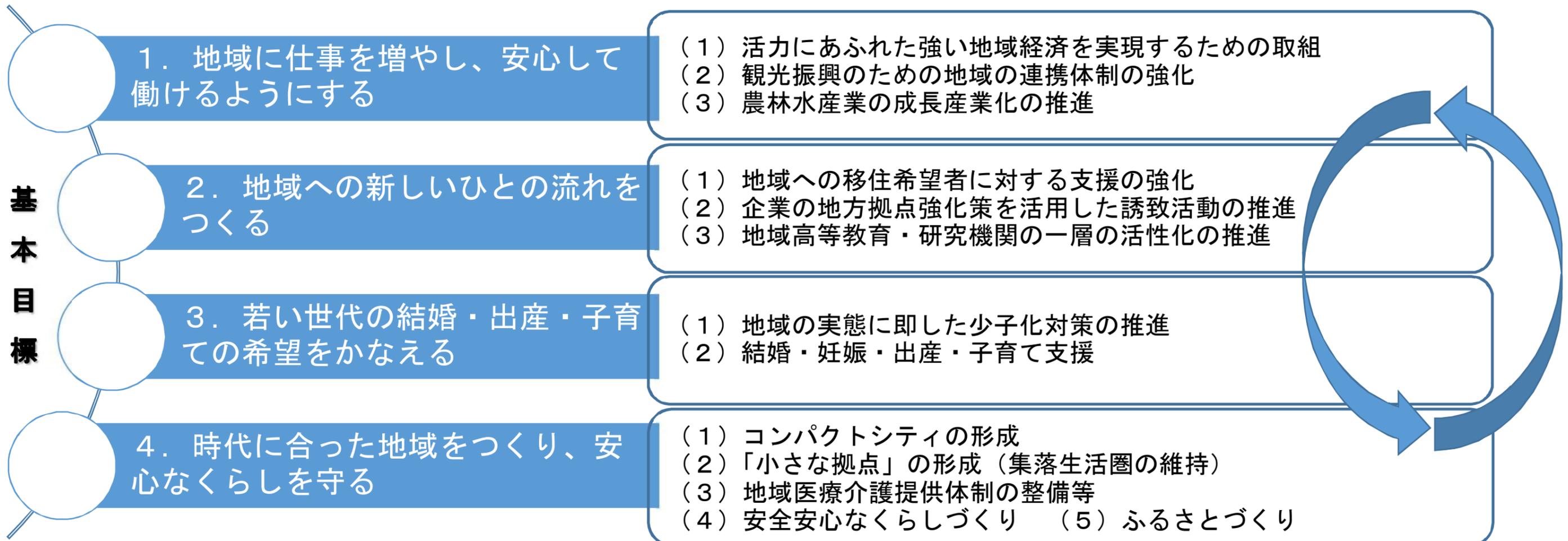
重点目標

人口流出、晩婚・非婚化、少子化の負のスパイラルを転換し、改めて地域の強み、優位性を活かした付加価値の高い地域産業・しごとづくりに取組み、若者がここで活躍したい、ここで暮らしたいと思うような活力にあふれた強い地域経済の実現を目指す。

重点施策

- ユネスコ食文化創造都市の高度ブランド化による観光、農業等の成長産業化
- 先端バイオを核とした次世代イノベーション都市の創造・発信による地域活性化

戦略の構成



「鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における合成クモ糸繊維関連施策

①新産業創出地域基盤事業

- ・ バイオクラスター形成に向けた戦略的活動の展開
- ・ 地元企業等との共同研究の促進（地域バイオマス資源活用研究等）

②ベンチャービレッジ構想推進事業

- ・ バイオサイエンスパークの拡張を含めた新たなベンチャー企業誘導、研究機関誘導に関する構想を推進

③鶴岡高専K-ARC構想支援事業

- ・ 鶴岡高専が構想している、全国から研究者を招聘しての研究開発拠点形成を支援

④企業立地の促進、企業等の地方拠点強化

- ・ 企業等の立地促進、投資促進のための支援施策の展開、企業等が地方拠点の拡充・強化（本市内への本社機能移転、支店の開設など）を行う事業を支援